

新日本設計（株）東北支社
山田 正幸

— 東北支社に赴任して —

【はじめに】

新日本設計株式会社・東北支社の山田正幸と申します。

東北支社へは令和2年4月に赴任し、全国上下水道コンサルタント協会東北支部には令和元年4月からお世話になり、併せて上水道委員としても活動しております。

私は仙台出身の仙台育ちで、弊社には平成元年に入社し仙台事務所に配属、今年で入社36年目となり、現在盛岡で単身赴任生活をしております。今回は自身の紹介と趣味、単身赴任生活での成長記そして近年毎年のように発生している豪雨災害の実例について紹介させていただきます。

【自己紹介】

先ずは簡単に自己紹介をさせていただきます。

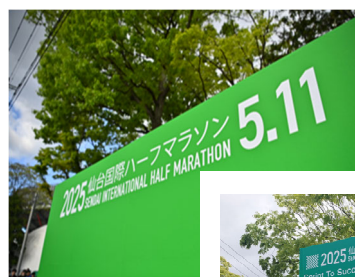
- ・生年月日：1963年12月8日生まれ、62歳になりました。
- ・家族：妻、子供3人（長男、長女、次女）全員社会人で長男、長女は婚姻
- ・趣味：現在はゴルフ・マラソン・その他（年齢のせい最近身体が悲鳴中！）
- ・経歴：大学卒業後、平成元年に新日本設計（株）に入社し仙台事務所に配属され令和2年から東北支社（盛岡市）に赴任し、現在は東北支社支社長として東北6県の管理・運営サポートを行っております。

【自己趣味】

私は 30 代の頃からマラソンを始め、これまで数多くの大会に参加してきました。

業務の一環で始めたマラソンですが今では健康維持のために走っています。始めは松島ハーフマラソンでした。若い頃は記録を追いかけ、夢中になり走ることにそのものが挑戦でした。しかし 60 歳からは仙台ハーフマラソンに絞り、65 歳までは自己記録の更新を目指して走り続けたいと思っています。現在は、無理をせず完走を目標に、健康づくりと気分転換を兼ねて楽しみながら走っています。

マラソンを通じて出会った仲間や応援団そして季節ごとに変わる四季の景色に励まされながら、今日まで走り続けてこられました。走り終えたあとの達成感は格別です。これからも自分のペースで走り続けていけたらと思います。



【单身生活の成長記】

单身生活を始めて 5 年目、コロナの影響もあり今でこそ自炊は当たり前で昼は毎日弁当を持参していますが、最初は失敗の連続でした。

玉ねぎは袋の中で芽を出し、もしかしたらこれがネギ？ハムは冷蔵庫の奥で変わり果て、処分する時に「ごめん」とつぶやいた。キャベツはしなびて黄ばみ、さらに卵は「消費期限が切れたら即廃棄」と思い込み、何度も無駄にしてきた。

ところが、ゆでたり焼いたりすれば問題なく食べられると知り、その日から卵は「最後まで使い切れる食材」に格上げされた。そんな試行錯誤を重ねながら今では朝の弁当づくりも習慣となり、レパートリーも増え保存や使い回しの工夫も身につけてきました。それも同じように单身赴任生活をしている仲間の会のおかげである。いつも共通の失敗談や生活の知恵の話で酒が進む、最近では定期的な情報交換を行いながら、「みんな同じ道を通って頑張っているんだな」と励まされ、また笑い合いながらストレス解消できるのも有難い、これも单身生活ならではの楽しみだと感じています。



【豪雨災害実例及び復旧内容】

1. 秋田県八峰町（R5 年）梅雨前線豪雨(23220)

被災日時：令和5年7月14～20日

総降水量(7月14日18時～18日10時)：254.5mm

時間最大雨量(7月15日8時00分～15日9時00分)：34.0mm

24時間連続最大雨量(7月15日0時～7月16日0時)：229.0mm

(観測点 八森)

八峰町(秋田県山本郡)を含む、秋田県北部地域では、令和5年7月14日～20日にかけて、梅雨前線が日本海から東北北部に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んだことで、記録的な大雨・豪雨災害が発生し、大雨による河川氾濫および土砂崩れによる道路の崩壊がおり、八峰町で約1,300戸の断水が発生した。

八森地区は、下記の導水施設の機能が停止した。

- ・八森地区導水管-1 DIPφ100 L=11.15m
- ・八森地区導水管-2 VPφ100 L=16.7m

峰浜地区は、導水管および配水管が破断し、7月15日～26日まで1318軒の断水が発生した。

- ・埴地区：導水管-1 VPφ75 L=50.8m
- ・沢目地区：配水管-1 VPφ200 L=70.3m

八森地区導水管-2



2. 山形県新庄市(R6 年)豪雨(24210)

被災日時：令和6年7月22～29日

総降水量(7月22日0時～29日0時)：430.5mm

時間最大雨量(7月25日21時00分～25日22時00分)：67.5mm

24時間連続最大雨量(7月25日0時～7月26日0時)：361.0mm

(観測点 新庄)

新庄市では、24日～29日までの降水量が430.5mm、最上町・瀬見で411.5mmを記録し、河川・浸水被害は前線の影響で線状降水帯の発生など極めて激しい雨が続き、最上川流域(戸沢村・新庄市など)では施設の冠水が発生し、取水施設の停止、更には送水ポンプ施設が停止したため、配水池へ水道水を運搬し、各家庭に影響がでた。

被災内容：上記豪雨により、送水ポンプ場が冠水し停止した。

- ・送水ポンプ、次亜注入ポンプ、送水ポンプ盤、計装盤、自家発電設備、
- ・送水ポンプ室、その他

平常時



浸水時



近年多発している豪雨災害についての実例を紹介させていただきました。
豪雨災害が増えている理由としては気候変動・地球温暖化の影響が大きく、特に日本は地形的にも「山地・急傾斜地が多く土砂災害・洪水に弱い」などの条件を持っており、豪雨災害が起きやすい構造になっていると言われている。そのことを踏まえれば今後も増えてくると予想される豪雨災害にハザードマップ、浸水シミュレーションの評価を用いた浸水対策を行い災害に備えることが重要であり、災害対応は住民の生活を速やかに元に戻せるように早期の復旧対応が必要となる。

【おわりに】

東北支社に赴任しての経験について、やや私的な内容が多くなってしまいました
が、新しい環境での順応の一端として見て頂ければと思います。また、日頃より協会
運営にご尽力いただいている協会支部の皆様、そして日々の準備、連絡調整、会の進
行など多岐にわたるお仕事を丁寧にこなしていただいている幹事会社の皆様方には心
からお礼申し上げます。

協会の活動は、その他に会員相互の親睦を図る大会も多く「広瀬川1万人プロジェクト」では社会貢献も行っております。私も真に微力ではありますが、協会支部の一員として活動に参加し、全国上下水道コンサルタント協会東北支部、ひいては業界全体を盛り上げていきたいと考えております。

以上